美瑛高校だより

2020 年 12 月 21 日
北海道美瑛高等学校

令和2年（2020年）厳しい年でした

校 長 升 田 重 樹

早いもので２０２０年も終わりに近づいています。今年は新型コロナウィルスの出現により困難極まりない１年となりました。そして未だに予断を許さない状況が続いております。１２月に入り、新型コロナウィルスの感染拡大で医療体制がひっ迫している旭川市に、自衛隊看護官が派遣されました。私たちの近隣の旭川市、上富良野町には自衛隊の駐屯地があります。また、本校の３年生には卒業後、自衛官を志している生徒が数名おります。今回はこれらの観点から少し自衛隊の役割について考えてみましょう。

国の法律、自衛隊法の３条１項に自衛隊の任務について規定していますが、条文には「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛すること」が主たる任務であると書かれています。しかし、実際には自衛隊は創設以来、本来の任務である防衛出動をしたことがありません。自衛隊の活躍といえば、震災や水害などの現場において救助にあたる災害派遣をイメージすることが多いと思います。実際に災害派遣で活躍する自衛隊を見て、「自分も困っている人を助けたい」という入隊希望者が増えているようです。災害派遣によって国民の自衛隊に対する信頼はより一層高まっているのも事実です。しかし、自衛隊の主任務は「国防」です。大きな災害があると、非常に多くの自衛官が災害派遣に回りますが、その間、本来予定していた「国防」のための訓練や教育などはすべて実施することができなくなります。当然のことながら災害の発生は前もって予定に組み込むことはできませんから、計画に大きな支障がでるわけです。旭川市医療現場への隊員の派遣もこの例になります。本来の任務ではないとしても人命救助活動であれば理解できるということです。

しかし、勘違いしてほしくないのは自衛隊は便利屋ではありません。国の平和と独立を守るための組織です。もちろん、その能力の高さから災害時には自衛隊しか対応できないような場面があることも確かなので、緊急性や公共性の観点から、人命救助や物資輸送などを自衛隊が行うことが認められるでしょう。しかし、何度も言うように本来の任務は国防であるのだから、これらが当たり前のことだという考えは改めるところがあるでしょう。自衛隊に常に重い負担を求めるような現状は一定程度見直す必要があるのではないでしょうか。ちなみに札幌雪まつりの巨大雪像に係る制作や輸送に陸上自衛隊が協力しているのは、雪中訓練を目的にしているからだということです。

自衛隊の任務に対して、自身の考えを含めて述べさせてもらいましたが、自衛隊に限らず、警察官や消防士など公務員全般の仕事は国民のため、地域住民のために働く使命と任務があります。そして、公務員に限らず、どの仕事についたとしても社会人としての責任が大きく求められます。今は困難な状況が続いており、多くの人が窮屈で辛い思いをしています。でも生徒の皆さんには未来があります。いつの日か社会人となり世の中の役に立つ人間になることを願いたいです。このような状況の中でも、できるだけ前向きに考えながら自らの将来像を描いてほしいものです。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の会議にて

本校も美瑛町内の小中学校と同様、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置しています。今月14日に委員の皆様にお集まりいただき、本校の取組の具体を本校の分掌部長（各セクションの長）から説明した後、委員の皆様から生徒募集についてのご意見等を幅広く伺いました。「学校で行われている行事や進路について、情報発信が足らないのでは」とのご指摘もあり、今まで以上に学校ホームページや美瑛高校だよりの充実を図っていきたいと考えています。また、本校でも国公立大学合格（北海道教育大学旭川校）や公務員等、高校卒業後の進路指導の紹介もあった方が良いとのご意見もありました。こちらも今後充実を図っていきます。是非本校のホームページもご覧ください。

1年生インターンシップ報告会

12月16日(水)の5･6校時において、本校の1年生のインターンシップ報告会を体育館にて実施しました。例年はより多くの発表、より多くの皆様方をお招きし、公開していたところですが、ご存知のとおり新型コロナウイルス感染症の影響により、発表数も例年より少なく、かつお世話になった事業所様と本校コミュニティ･スクールの委員の皆様にのみお声かけし、感染対策をしっかりと施した中で実施致しました。

5名の代表生徒は、それぞれ体験したことや学んだことを堂々と発表していました。

「働くこと」は生活の基盤をつくるとともに、「地域や社会への貢献」に繋がります。近い将来にやってくる「社会人としての素養」をしっかり身に付けてほしいと思います。

冬休みについて

いつもであれば、クリスマスやお正月等、楽しいイベントが目白押しで、かつ外出も多くなることと思いますが、ご存知のとおり新型コロナウイルス感染症の猛威は依然として止んでおりません。「不要不急の外出」は避けることはもちろんですが、どうしても出かけなくてはならない時もあろうかと思います。その時は普段学校でも徹底してもらってると思いますが、「マスクを着用する」「三密を避ける」等、同じことをしてください。

また、外出から帰ったら「手洗いやうがい」をしっかり行ってください。

「自分自身が感染しない」ことはもちろん、「相手に感染させない」ことも極めて重要です。「コロナ疲れ」の言葉に代表するように、もしかしたらうんざりしている人もいるかもしれませんが、苦しいときこそ人の真価が試されます。頑張っていきましょう！

保護者各位

新型コロナウイルス感染症に振り回され続けた2020年も、残すところあと10日あまりです。あれから９ヶ月経過しておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症の猛威は続いており、特に札幌、そして近隣である旭川市の感染状況は他の都府県と比しても高止まりが続き、年末年始といえども気を引き締めなければならない状況と言わざるを得ません。是非ご家庭でも新型コロナウイルス感染症の予防について、確認と予防策の徹底を引き続きお願い申し上げます。

年明けは３年生にとっては卒業考査、２年生は見学旅行、１年生は上級生になり、自覚が求められてきます。令和２年度の終わりが見えてきたからこそ、次年度への準備（心構え等含めて）を進めるようご家庭でのご指導よろしくお願い申し上げます。皆様よいお年を。